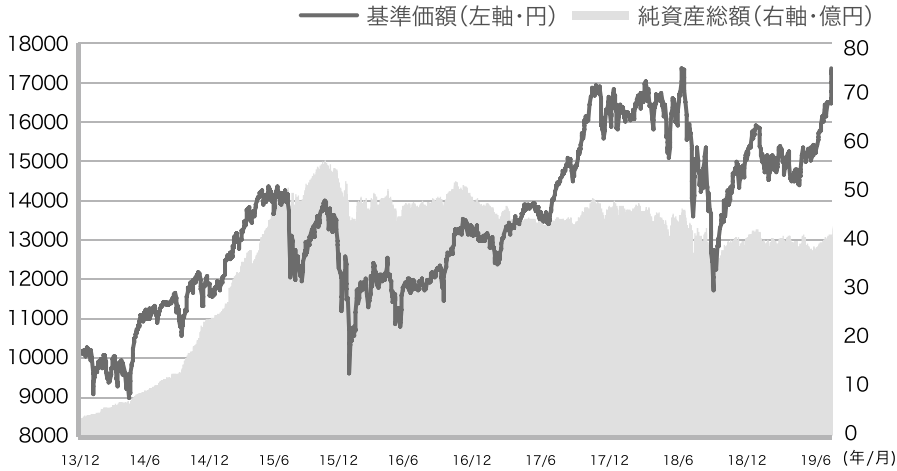




2019年11月29日付

基準価額の推移



ファンドのデータ

基準価額	17,354円
純資産総額	4,258百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除されています(後述の「ザ・2020ビジョンの費用について」をご覧ください)。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.265%(消費税込)です。

ポートフォリオの構成比(マザーファンド)

	当月末	前月末比
株式	95.6%	▲3.8%
投資証券等	0.0%	±0%
現金等	4.4%	3.8%
構成銘柄	55社	▲1社

※投資証券等とはREIT(不動産投資信託)等、上場している株式以外の有価証券。

分配実績(1万口あたり、税引前)

第1期 (2014年12月18日)	第2期 (2015年12月18日)	第3期 (2016年12月19日)	第4期 (2017年12月18日)	第5期 (2018年12月18日)
0円	0円	0円	0円	0円

※分配実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合があります。

基準価額(税引前分配金を再投資したものととして算出)の騰落率

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
9.54%	18.60%	16.47%	14.92%	37.24%	44.59%	73.54%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

チーフポートフォリオマネージャーより

運用責任者メッセージ

11月の内外金融市場は、米中協議の一進一退に振られる展開となりましたが、米国ではNYダウははじめ主要指数が揃って史上最高値を更新するなど、世界的な株高のトレンドは維持されました。国内株式市場も、米国株高などを背景に外国人投資家の買いが継続し、小幅な上昇となりました。当ファンドは+9.54%の上昇となりました。ベンチマークではありませんがTOPIX(東証一部株価指数; 配当込み)は+1.94%の上昇、日経平均株価は+1.60%の上昇、東証マザーズは+4.71%は上昇でした。これで、年初からの11ヵ月で+38.21%の上昇となりました。(同期間のTOPIX配当込みは+16.43%、日経平均株価は+16.38%)。年初からの好調を維持しています。好調な時ほど、気を引き締めて運用に取り組みます。引き続き、当ファンドにご期待ください。



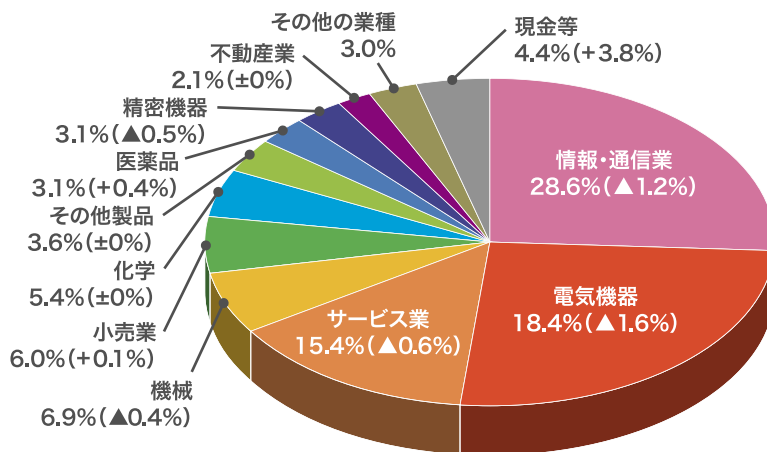
代表取締役社長
兼最高運用責任者 伊井 哲朗

市場概況

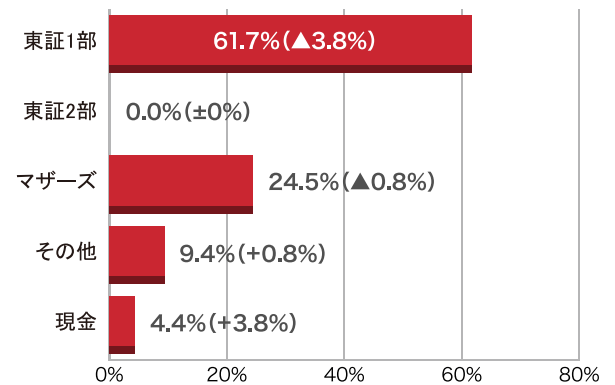
11月前半の日本株は急上昇で始まりました。5日、トランプ大統領が今年9月に発動した対中関税の上乗せ措置の撤回を検討しているとの報道で上昇し、日経平均はおよそ1年1ヵ月ぶりに23,000円台を回復しました。その後、香港での警官隊によるデモ隊への発砲が伝えられると緊張感が高まり日本株はもみ合いとなりましたが、15日にクドロー国家経済会議委員長やロス商務長官が米中通商協議の進展を伝えたことからダウ平均が史上最高値を更新し日本株も再び上昇に転じました。後半の日本株は高値圏でのもみ合いとなりました。21日に米国議会が香港人権法案を可決したことで米中通商協議の第一弾合意が来年にずれ込むとの懸念から一時下落となりましたが、27日、実際にトランプ大統領が署名し成立したことで今後の米中通商協議に大きな悪影響をもたらさないとの見方から反発に転じ、月末の日経平均は前月末比366円高(+1.60%)の23,293円で取引を終えました。

トレーディング部 瀧上 幸男

資産・業種別構成比 ()内は前月比

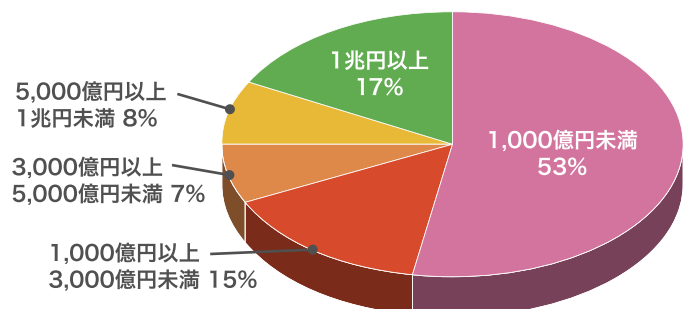


市場別構成比 ()内は前月比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 時価総額別構成比については、構成銘柄数における当該時価総額別の社数の割合を示しています。

時価総額別構成比



運用状況

◎ファンドの月間リターンと主な投資行動

11月、当ファンドは国内株式市場の上昇を大幅に上回る上昇となりました。組入上位10銘柄の中ではメイコーの26.47%を筆頭に、ワークマン、ユーザーベース、エムスリーなどの上昇が目立ちました。また、11位以下には30%以上の上昇となった銘柄も複数出ています。当月は小型株市場が堅調でした。年初からの良好なパフォーマンスが継続しています。

最高運用責任者 伊井 哲朗

- 組入比率とその内訳、組入銘柄に関する記載は、マザーファンドについてとなります

組入上位10銘柄の紹介

(2019年11月29日現在)

業種	銘柄名	組入比率	概要
電気機器	ソニー	4.0%	世界トップシェアを誇る半導体「CMOSイメージセンサー」を成長のけん引役に、ゲーム、映画、音楽、エレクトロニクス製品でシナジーを掘り起こし、持続的な高収益、新たな価値を提供し続ける企業を目指す。
サービス業	エムスリー	3.9%	医療従事者向け情報サイトで製薬会社への情報提供支援事業、医薬の研究開発のe化を推進する治験事業を展開。MR君(医療情報提供サービス)の持続的な成長に加えて、治験のe化を推進する「治験君」が第2の成長エンジンへ。
その他製品	任天堂	3.6%	据え置きゲーム機ハード、ソフトの総合大手。2017年に発売した新型据え置きゲーム機「Switch」およびソフトの販売が好調に推移。今後は有力新作ソフトの拡充に加えて、オンライン機能や「LABO」など新しいあそびの提案などに注目。
小売業	ワークマン	3.0%	1982年設立。北関東のスーパーマーケットから分離した作業服専門チェーン。機能性があるのに、徹底的に安いのが特徴。従来、運送業や設備工事業、土木業などに従事する人たちが購買の中心だったが、SNSや口コミで支持され、一般消費者への購買も広がってきている。需要予測システムやトレンド分析の活用などで売れ残りを減らす施策も展開。
情報・通信業	ラクスル	2.9%	ネット上で完結する印刷・広告プラットフォーム「ラクスル」を運営。大企業中心に垂直統合で形成された産業をインターネット・シェアリングにより水平分業化することで、日本全体の生産性向上に取り組む。長期的なプラットフォーム価値の最大化を目指した成長投資の効果に期待。
サービス業	リクルートホールディングス	2.8%	会社設立以来、60年を超えて常に変化を続け新しい価値の創造を続ける。峰岸社長は、「企業文化以外は全て変えていく」と決めて同社の変化を推進。この10年でゼロに近かった海外売上高比率も50%を超える勢い。
情報・通信業	ユーザベース	2.8%	法人向け業界情報プラットフォーム「SPEEDA」、経済ソーシャルニュース「NewsPicks」を展開。既存事業のEBITDAマージン30%超を2020年までに、米NewsPicks事業を2021年に黒字化達成を目指す。
電気機器	メイコー	2.8%	プリント配線板製造大手。最悪期を脱し、構造改革のステージを経て成長ステージへ突入。主軸の車載用、スマホ用ともに増勢基調。車載用は自動運転、電動化の普及拡大により需要は旺盛。スマホ用は中国、韓国向けに強み。需要拡大に伴い設備投資も活発化。
サービス業	ジャパンエレベーターサービスホールディングス	2.5%	エレベーターの保守・リニューアルを手がける。対象市場は国内に稼動する約100万台のエレベーター。その約8割を設置したメーカー系保守会社が、残り2割を同社などの独立系がメンテナンスを請け負う。エレベーターの老朽化が進むなか市場が堅調に拡大。価格設定を含めたコスト競争力、リモートメンテなどを備えた技術力、東証上場によるブランド認知向上、などを強みにシェア向上を図る。
電気機器	日本電産	2.5%	モータの開発・製造・販売が事業の中心。中期戦略目標「Vision2020」で掲げる2020年度売上高2兆円、営業利益率15%以上、株主資本利益率18%以上、の目標達成に向けて、吉本新社長が就任し経営体制の一層の強化を図る。創業者である永守氏は、会長兼CEOとして引き続きグループを牽引。

● 業種については東証33分類に基づいて記載しております。 ● 比率は純資産総額を100%として計算しております。

未来予想図～20-20vision～

‘人財を尊重、外食およびコンタクトセンター業のケース’

10月から続いた決算発表および説明会がほぼ一段落し、今は個別の企業訪問を多く入れている。フード業界向けシステム会社、食品卸、大手外食チェーン、コンタクトセンター業、コンビニエンスストア、青果流通業、商社、警備会社、総合アパレル、バス用電装品メーカー、デジタル記録の解析装置メーカー、通貨情報処理機メーカー、食材宅配サービス、などを訪問。中長期の投資対象を探す際、その産業や企業が利益を生み出し、それを維持していく能力があるのかが大事だと考えている。最近は多様化する働き方のなかで、従業員のモチベーションを高め維持するしくみづくりができてきているかにも注目している。今回訪問した外食、小売り、サービス系は、とりわけ、アルバイトを含めた「人」によって支えられている。人財重視は必須であり、なかでも大手外食チェーンとコンタクトセンター業の取り組みは印象深かった。大手外食チェーンの場合、アルバイトは、学生、主婦、シニア、外国人など多様な層からなる。ここでは、店舗スタッフの教育のために、各人にタブレット端末を配布。デジタル対応の教育プログラムをわかりやすい形で標準化している。先輩からの実地指導と合わせて、納得感を得られる教育で、学習効率が大きく向上したという。アルバイトは1日2時間から勤務でき、朝・夜を含め柔軟にシフトが組める。店舗のスタッフ休憩ルームは、広さ、環境、空調に気を配り、コミュニケーションの場となる。アルバイト採用については、既存スタッフからの紹介が半数以上と高い。永年勤続表彰制度が数年間隔であるなど、働く意欲を高めている。30年勤続のアルバイトもいるようだ。一方、コンタクトセンター業の場合、商品購入の申し込みや契約関連の問い合わせ、通信販売の受付対応などを行う。企業のアウトソーシング市場が拡大するなか、コンタクトセンター業への引き合いが強まっている。ただ、コンタクトセンター内では、各人のスキルのアンバランスから業務についていけず、採用された後、短期間でやめる人も多い。採用コストが上昇するなか(一般に一人当たり数十万円)、離職を防ぐためAI(人工知能)の活用が進む。その1つが、オペレーターが電話中に言葉に詰まったら、連動させた情報端末の画面上に会話に必要なキーワードが表示され、会話の進行を促したりする。また、働き方として在宅シフトも検討。高性能なカメラと通信を使って実証実験を始めている。



シニア・アナリスト
上野 武昭

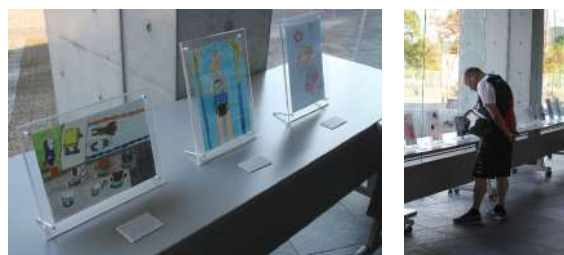
コモンズPOINTからのお知らせ

【POINTで日本知的障害者水泳連盟を応援】

～みんなの水泳の絵2019絵画展@高知開催～

11月10日(日)高知県くろしおアリーナに行って参りました!「第22回日本知的障害者選手権水泳競技大会」会場にて、昨年に引き続き「みんなの水泳の絵2019」絵画展を共催させていただきました。ぜひこちらのブログをご覧ください
→ <https://park.common30.jp/2019/11/2019.html>

今回のイベントにも遠くからコモンズのお仲間(ザ・2020ビジョンの受益者)がコモンズPOINT応援団に加わってくださり、絵画展を1日お手伝いいただきました。そして、メダル授与も体験していただいた感想がこちらです。「選手に直接お会いすると、どんどんファンになってしまふ。これも、コモンズさんのメルマガにもあった、体温が伝わる体験ですね。」絵画展には、多くの参加者、そしてご家族も立ち寄ってくださるので、直接お話をお聞きすることができます。そして、選手たちが見ている世界、ご家族や連盟のスタッフのみなさんが感じている世界を共有させていただくことができる特別な空間になっています。次の開催は、第3回日本知的障害者選手権新春水泳競技大会(2020年1月13日(月・祝)千葉県国際総合水泳場)にて「みんなの水泳の絵2019」絵画展を行います。ぜひコモンズPOINT応援団にご参加ください。



コモンズPOINT担当 馬越 裕子

お知らせ

◎Pick up!セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「セミナー情報」をご覧ください。 <https://www.common30.jp/seminar/>

セミナー名		日付	時間	場所
コモンズ投信10周年感謝の集い	【名古屋】	12月15日(日)	13:00～15:30	オフィスパーク名駅花車デザイン会議室 (愛知県名古屋市)
はじめてのコモンズ(ファンド説明会)	【新橋開催】	12月11日(水)	18:30～20:00	貸会議室マイ・スペース 新橋汐留口駅前店(東京都港区)
	【お子様連れ歓迎】	12月13日(金)	13:30～15:00	コモンズオフィス(東京都千代田区)
		12月18日(水)	18:30～20:00	
	12月25日(水)	18:30～20:00		
	【お子様連れ歓迎】	12月27日(金)	13:30～15:00	
【埼玉(浦和)開催】	12月28日(土)	9:45～11:30		
【ライブ配信WEBセミナー】 ぱふーむの長期投資道“あることないこと”		毎月第1、第3 木曜日	12:30～12:50	お好きな場所で!
【ライブ配信WEBセミナー】 はじめてまなぶ投資信託	DAY1～投資信託とは～	12月10日(火)	15:30～16:30	お好きな場所で!
	DAY2～投資信託を選ぶ～	12月17日(火)		
	DAY3～報告書の見方～	12月24日(火)		
出版一周年記念イベント 渋澤健@福岡 『寄付をしてみよう、と思ったら読む本』 ～よりよい社会のためのお金の循環～		12月12日(木)	19:00～20:30	wework大名(福岡県福岡市)

「贈る喜び&つみたてキャンペーン」のお知らせ

年末年始恒例の贈る喜び&つみたてキャンペーン、好評開催中!～1月31日までです!

ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしく お願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

価格変動リスク	当ファンドは実質的に国内の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行なえない、又は取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。

その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。

販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○	○			○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○		
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○			
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商)第6号	○				
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第52号	○	○	○		
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第32号	○				
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第164号	○	○			

ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3%(消費税込)が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.265%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信/国内/株式
信託設定日	2013年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	(コモンズ投信の場合)1万円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	(コモンズ投信の場合)1円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先	■ コールセンター (受付時間/平日 午前9時~午後5時)	■ ウェブサイト
	03-3221-8730	https://www.common30.jp/
<p>◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。</p>		<p>金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2061号 加入協会 一般社団法人投資信託協会</p> <p>コモンズ投信株式会社 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階</p>